

# 第4章 計画の基本的な考え方

- 1 計画の呼称
- 2 計画の基本目標
- 3 具現化の視点
- 4 施策の体系

## 第4章 計画の基本的な考え方

### 1 計画の呼称

この計画は、

「千歳市学校教育基本計画」

～未来への飛翔・すべては子どもたちのために～

とします。

### 2 計画の基本目標

基本目標1 ふるさと千歳への感謝と希望を育てる

ふるさと千歳には、清流千歳川のせせらぎ、支笏湖を囲む山々の緑と光、紅葉に映えるサケの群れ、地平に広がる田畑の恵み、街を行き交う人々の笑顔、最先端の生産技術を誇る工場、近代技術の粋を集めた航空機の滑空、先住民であるアイヌの人たちの文化、国を守る大きな力となる基地や駐屯地など、様々な姿があります。

千歳の子どもたちが、「ふるさと千歳」で経験したことを、青年期に至る最も感受性の高い成長時にしっかりと心の奥深くに刻むことを心から願っています。

学校教育の場を生かし、子どもたちが千歳の様々な姿に触れることで、ふるさとを愛する心を感じることができます。そして、日々の学び舎である学校での生活が、明るい笑顔と励ましに包まれ、健やかな成長の場となるよう学校・家庭・地域の連携に取り組みます。

「ふるさと千歳」で育つ子どもたちの基本的な教育を充実するために、自分のよさを感じて意欲的に明るく生活する自己有用感<sup>※</sup>を育み、子どもたちが規則正しい生活習慣やルールを身に付け、将来自立し、夢や目標を実現していくことを後押しする家庭の教育力と地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進します。

また、安全で安心な教育環境を整備するため、学校施設や設備の充実を図るとともに、災害時において適切な避難の行動がとれるよう日頃から避難訓練を実施するなど防災教育に取り組みます。

このような学校教育の充実と発展を支える“基礎づくり”に取り組み、このかけがえのない千歳の大地を慈しみ、生きる力の源となる、ふるさと千歳への感謝と希望を育てていきます。

#### 【基本方向】

- ① 子どもたちに自己有用感を育てる教育の推進
- ② 安全・安心な教育環境の充実
- ③ 家庭の教育力の向上への支援の充実
- ④ 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

※自己有用感：他者との関係の中で、「自分は役に立っている」など、自分の存在を価値あるものと受け止められる感覚のこと。

## 基本目標2 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる

今後、さらに進展していく地球規模での人・物・情報の行き交い、経済や文化は国境を越えて展開されており、異文化の理解と共生が強く求められる時代に入ってきています。

このような時代の変化等を踏まえ、学校教育の充実と発展を考えると、未来を担う人材を育てるためには、時代の要請に応えることができる学校力<sup>※</sup>を発揮させることが必要となっています。

そのため、学校組織の活性化に向けた学校改善を図るとともに、学校の総合的な機能を十分に果たすための「学校力」の向上に取り組みます。

また、変化の激しい時代に生きる子どもたちには、日常生活や経済社会のあらゆる活動において、情報が果たす役割や影響がますます高まっていることから、学習の場に電子黒板<sup>※</sup>などのICT機器の使用を積極的に進めるなど、社会の変化に主体的に対応していく力を育てます。

さらに、諸外国の人々とのコミュニケーションを図るために外国語教育をはじめ、様々な文化を持つ人々と対話し、理解を深める教育を推進します。

このような、時代のニーズに応じた“国際都市千歳にふさわしい学校づくり”に取り組み、未来に生きる子どもたちに、グローバルな感覚を育てていきます。

## 【基本方向】

- ⑤ 新しい時代に対応した学校改善の推進と「学校力」の向上
- ⑥ 社会の変化に対応する力を育成する教育の推進
- ⑦ 国際社会に生きる人材を育成する教育の推進

## 基本目標3 知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる

今、私たちの生活には、航空技術、生産技術、営農技術など、あらゆる分野で最先端の技術が駆使されています。

最先端の技術が一部の専門的な場面だけではなく、日常の生活の隅々まで浸透している中、千歳で学ぶ子どもたち一人ひとりに対し、新たな世界へ好奇心を持って積極的に取り組む熱意やチャレンジ精神が求められており、特に、“個の成長”が必要不可欠であります。

子どもたちの知的な探究心が躍動し、積極的な決断と行動が展開されていくことが、千歳のまちづくりの原動力になります。

子どもたちの個の成長を育むために、「生きる力」の三つの要素の一つである「確かな学力<sup>※</sup>」を育成し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図り、学力の向上に積極的に取り組みます。

※**学校力**：学校はすべての子どもにとって、仲間と共に生き生きと学び生活するところである。子どもたちが口々に「学校が好き」ということばを交わす学校、保護者が自分の子どもを通わせたいと思う学校、教職員が全力で仕事をしたいと思う学校を目指す。いじめや体罰などが生じる余地のない積極的な指導が行われる学校では、一つ一つの取組が好循環を生みだす。常に改善への志向がみなぎる「力のある学校」は、子どもたちの「生きる力」を全面的に育てることができる。

※**電子黒板**：パソコン等から教育コンテンツを映し出し、専用ペン等で操作や入力ができる黒板。

※**確かな学力**：知識や技能はもとより、これらに加え、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力等まで含めたもの。

また、「豊かな心」を育成するため、自然体験やボランティア活動、あるいは読書などの身近な体験活動を推進するとともに、生涯にわたって自己実現を図る基盤である「健やかな身体」の保持増進を図る上で必要な資質や能力の育成に取り組みます。

さらに、障がいのある子どものそれぞれの状態や特性等に配慮した指導内容や指導方法、指導体制の工夫を行うなど、一人ひとりの教育的なニーズを踏まえた教育の充実を図ります。

このような知・徳・体の“生きる力”を伸ばすことに取り組み、知的な探究心を養い、積極的に行動する子どもたちの力を育てていきます。

【基本方向】

- ⑧ 確かな学力を育成する教育の推進
- ⑨ 豊かな心を育成する教育の推進
- ⑩ 健やかな身体を育成する教育の推進
- ⑪ 特別支援教育の推進

### 3 具現化の視点

この学校教育基本計画について、その大部分は、それぞれの学校が千歳市民の願いを受け止め、校長のリーダーシップのもとに教職員の協働により具体化するものでありますが、次の5つの視点を踏まえ、先に掲げた基本目標を具現化するための基本方向や施策項目などを定めます。

- (1) 学校は、「ふるさと千歳」を体験させ、誰もがかけがえのない存在であることを教える。
- (2) 学校は、経営改善を着実に進め、「学校力」の向上を図る。
- (3) 学校は、一人ひとりの子どもたちに「生きる力」を確実に身に付けさせる。
- (4) 家庭と地域は、「家庭力」「地域力」\*を發揮し、学校を支援する。
- (5) 教育委員会は、取組の状況をとらえながら計画を「マネジメント\*」する。

## 4 施策の体系

千歳市学校教育基本計画		
基本目標	基本方向	施策項目
1 ふるさと千歳への感謝と希望を育てる 〈基礎となる基本目標〉	1 子どもたちに自己有用感を育てる教育の推進	1 千歳市の特色を生かした教育活動の推進
		2 認め合い高め合う学年・学級経営の推進
		3 教育相談体制の充実
		4 いじめ・不登校問題への取組の充実
	2 安全・安心な教育環境の充実	5 学校施設の充実
		6 防災・安全教育の推進
		7 就学(修学)支援の充実
	3 家庭の教育力の向上への支援の充実	8 家庭の教育力の向上
		9 幼児教育・子育て支援の充実
	4 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進	10 地域の教育力の向上
		11 子どもたちの安全・安心を確保する体制づくりの推進
2 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる 〈時代のニーズに応じた基本目標〉	5 新しい時代に対応した学校改善の推進と「学校力」の向上	12 学校組織の活性化に向けた取組の推進
		13 開かれた学校づくりの推進
		14 教職員の資質・能力の向上
		15 学校間の連携・接続の推進
	6 社会の変化に対応する力を育成する教育の推進	16 関係機関団体との連携協力の推進
		17 ICT教育の充実
	7 国際社会に生きる人材を育成する教育の推進	18 環境教育の推進
		19 外国語教育の充実
3 知的な探究心を持ち積極的に行動する力を育てる 〈生きる力(知・徳・体)を育むための基本目標〉	8 確かな学力を育成する教育の推進	20 国際理解教育の充実
		21 確かな学力を育成する教育の推進
	9 豊かな心を育成する教育の推進	22 学ぶ意欲を高める指導の充実
		23 道徳教育の充実
		24 読書活動の推進
	10 健やかな身体を育成する教育の推進	25 体験的な活動の充実
		26 体力・運動能力の向上
		27 食育の推進
	11 特別支援教育の推進	28 健康教育の推進
		29 特別支援教育の体制整備